

本物素材を厳選、夫婦の想いを形にした こだわりの小児科医院併用輸入住宅

三重県鈴鹿市 すずかこどもクリニック モアハウジングコンポーネント

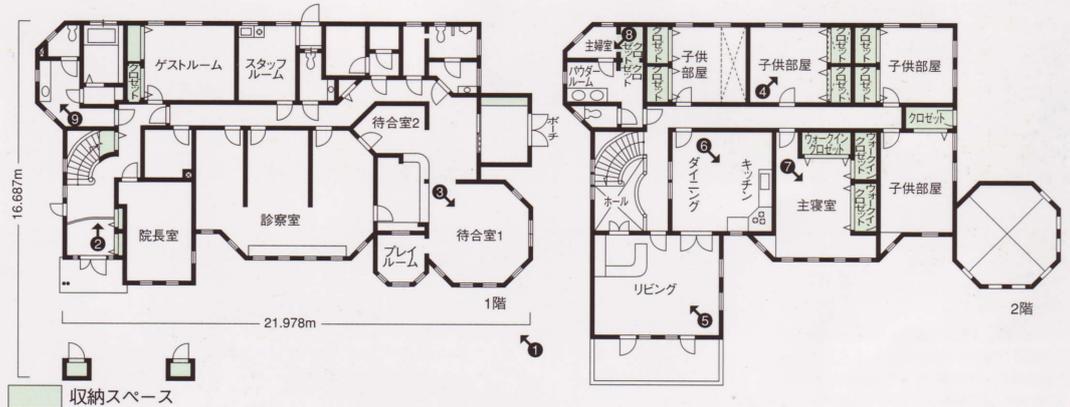


②玄関を入ると真っ先に飛び込んでくるサーキュラー階段。大理石の床や壁など、素材にもとことんこだわった



①本当にお城のような佇まいをみせる渡辺氏邸。向かって右側のアーチがかかったエントランスが小児科の入口。左奥が住居用の玄関となっている。中央の棟は実質3F部分まで吹き抜けになった待合室で、子供たちがワクワクする、また来たいと思うほどの工夫がこらされている。実際に「お城の病院に行こう」とせがむ子供も多いとか。外壁は自然石を利用したパーマストーンを使用

渡辺さんの家	
家族構成 / 夫婦+子供4人	商品名 / フリープラン
工法・構造 / ツーバイシックス工法	竣工年月 / 1999年9月
敷地面積 / 877.20㎡ (265.3坪)	延床面積 / 448.03㎡ (135.5坪)
1階=245.36㎡	2階=202.67㎡



その答えとして、同社は耐久性に優れたダグラスファアを採用、2×6工法との相乗効果で輸入住宅ならではのダイナミックな空間設計を取り入れている。また気密・断熱性に優れ、遮音、省エネ効果も高いヒートミラー入り木製三層サッシを標準装備し、細かな造作材や設備に至るまで高品質な素材を多用。家族のこだわりに応える本物の輸入住宅を作り続けているのである。

「ダイナミックなデザインを多用して、子供たちに夢を与えるお城のような病院を作りたいです。そのためには、素材から構造、デザイン性、性能面のすべてにおいて納得できなければなりません。まして、永く住み続ける住居部分もありますから……」

「それもそのはず、モアハウジングコンポーネントは、デザイン、基本性能、構造のすべてにおいて、本格派の輸入住宅を追求しているメーカーである。ワンランク上の輸入住宅として、5000棟を超える施工実績を誇り、各方面から高い評価を得ているのだ。」

「安心してお任せできました」
鈴鹿サーキットにほど近い鈴鹿市秋永町に新築された渡辺氏邸は、同時に「すずかこどもクリニック」を開業する病院併用住宅でもある。ご主人は、「病院勤務時代の先輩がモアハウジングさんで、病院併用住宅を作りまして、その紹介でお願いしました。先輩のお宅を拝見して、しっかりと仕事をしているのが、すぐにわかりましたから」

先輩医師のお宅で仕事を拝見